

令和8年6月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	11	議席 番号	10	氏名	臼 井 由紀子 議員	1 / 2
発言項目				要 旨		答弁者
1	ラーケーションについて			<p>教育の観点から、学校教育と家庭・地域における学びをどのように作り、こどもの主体的学びや成長につなげるかが重要であると考え、以下伺う。</p> <p>(1) 市当局として、ラーケーションを教育活動の一つとしてどのように認識し、研究・検討を行っているか。</p> <p>(2) こどもの主体的・探究的な学びや体験活動の充実という観点から導入する場合に、どのような教育的目的を想定しているか。</p> <p>(3) 家庭環境によって学習機会に差が生じる懸念について、教育機会の公平性の観点からどのように考えるか。</p> <p>(4) 学校教育と地域資源を結びつけた学びとして、地域の文化・産業・自然等を教育活動へ生かす考えはあるか。</p> <p>(5) ラーケーションを導入した場合、利用人数だけでなく、こどもの学びの深まりや教育的効果をどのように検証する考えか。</p> <p>(6) 既存の学校行事や体験学習、地域学習との教育的な役割整理をどのように進めるか。</p> <p>(7) 教師の働き方改革に逆行しないか。</p>		市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長
2	富士宮市における居場所づくりの現状と今後の展開について			<p>近年本市ではこどもの居場所、若者支援、通いの場、寄り合い処、重層的支援体制整備事業など居場所づくりに力を入れている一方で、事業間の位置づけや目的、成果指標が市民から見えにくく、居場所を作ること自体が目的となっていないか検証が必要と考える。特に今年度から補助金の対象となる事業もある。そこで以下伺う。</p> <p>(1) こどもの居場所、子育てサロン、通いの場、寄り合い処等はどのように整理され役割を担っているのか、伺う。</p> <p>① 各事業の対象年齢、所管課、財政状況はどうか。</p> <p>② 市民に分かる形で全体像を示しているのか。</p> <p>(2) 居場所づくりによって孤立防止、地域参加、相談支援、課題解決につながった成果をどの程度把握しているか、伺う。</p> <p>① 利用者数だけで評価しているか。</p> <p>② 支援につながった件数や地域活動への展開を把握しているか。</p> <p>③ 開設後に継続しない事業所は検証対象か。</p> <p>(3) 重層的支援体制整備事業との関係について。 本市では重層的支援体制整備事業を進めているが居場所づくりは相談支援、参加支援、地域づくり支援の中でどのように位置付けられているか伺う。</p> <p>① 居場所から支援につながる導線はあるか。</p> <p>② 多機関協働の具体的事例はあるか。</p>		市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長

令和8年6月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	11	議席 番号	10	氏名	臼 井 由紀子 議員	2 / 2
発 言 項 目				要 旨		答 弁 者
				(4) 今後の方向性について。 今後は新規開設を増やすことだけでなく、既存の地域資源との連携や質の向上が必要と考えるがいかがか。 ① 地区社協、自治会、民生委員との役割整理について伺う。 ② 今年度から実施のこども・高齢者の居場所事業についての今後の予定を伺う。		